

山陰街道（京街道）踏査に遭遇



3月1日の昼前、ガイドブック関係の用件を済ませて帰る途中に、放光院（茶堂）の境内に目をやると見慣れない3人が、茶堂水碑の測量している様子。少し気になったので、車を停車して声をかけました。代表の方の説明を聞くと、京都府教育庁指導部 文化財保護課の職員で、府内の山陰街道を歩いて現存する街道の様子を1年間かけて調査してまとめるとの事。境内の石造物や道標、京街道などもその内容に含まれるものと思い、自宅まで戻り「ガイドブック・観光マップ・今昔かるた」を進呈させて

もらった。大層喜んで戴きました。府内の山陰街道の西端は夜久野になりますが、今後、報告作成には2～3年を要する見込みとの事。一部戴きたい旨をお願いし、名刺交換をおこないました。ここ数年間、茶堂を基点にした周辺の史跡や見所のPRに努めてきましたが、今回の件に限らず夜久野高原で出逢った人には声かけを心掛けています。思わぬ出逢いや発見、高原散策の感想や課題などを耳にすることが出来るからです。

